

新総合臨床研修センター長紹介

人生100年時代、臨床に強い医師の育成を目指して

総合臨床研修センター センター長

熊木天児

私は愛知県立旭丘高校を卒業後、愛媛大学に進学しました。同期の第17期はえひめ愛が強く、最も母校に残った学年です。現在は研修医育成のマネジメントを担当しております。前任の高田清式先生が築きあげられたものをベースに、愛大の強みであるOSCE・シミュレータ教育にさらに力を入れ、研修医主体のコアな勉強会の導入を目指します。初期研修の2年間は、医師としての基礎を学ぶ時期です。患者さんの症状から様々な病気を思い浮かべ、人として気持ちに寄り添い、診療を進めていく過程を身につける必要があります。

私は昔から漠然と医学教育に関心がありましたが、トロント大学で確立された教育システムに刺激を受けました。目標が明確で、段階を踏んで学び、研修医だけでなく、指導する側も評価されるものでした。帰国後も教育・指導に積極的に携わり、医学生と研修医の変化も間近で見続けてきました。これまでの海外での専門診療から地域医療・プライマリケアまで幅広い分野での経験を活かし、時代のニーズに合わせて、世界にも通用する医師の育成を目指します。そして、「知るは喜びなり、知るは楽しみなり」を共有しながら、これからも若者と共に学んで参ります。同時に、一人の臨床医として、診療はもちろんのこと研究・論文執筆も続けていきたいです。



PROFILE

くまぎてる◎1995年愛媛大学医学部卒業後、第三内科に入局。2006年にカナダ・オンタリオ州医師免許取得後、トロント大学消化器内科で診療に従事。帰国後、愛媛大学医学部地域医療学講座准教授等を経て2020年4月より現職。趣味は若手育成、英会話、論文作成、子どもたちとの釣りや青春18きっぷの旅。